

平成 24 年度 事業 報告

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

I 事業の状況

平成 24 年度において実施した事業について報告します。

当財団法人は平成 24 年 3 月 21 日に公益財団法人に認定され、同年 4 月 1 日に移行登記を行いました。本年度は公益財団法人として、最初の報告書を作成しました。

1. 大宅壮一文庫の維持運営及び拡充

(1) 寄付及び賛助会員に関して

当法人の事業を遂行するため、財団設立の目的及び事業に賛同する個人及び法人から寄付を受け入れている。本年度は 3 人の方から寄付をいただいた。

賛助会費の寄付は法人会員が、新規入会の 6 件を含め 99 件だった。個人会員は前年度より 26 人減り 184 人となった。

(2) 文庫の利用状況

1. 利用者について

開館日数は日曜 53 日、祝日 15 日、年始等の休館日 73 日を除いて、292 日となった。全体の営業日は、日曜ファクシミリ営業日も含め 343 日となった。平成 25 年 3 月 31 日は雑誌記事索引データベースのサーバー切替のため日曜ファクシミリを休止した。

年間の利用者数は合計 89,905 人。前年比 2,312 人増加して、月平均 7,492 人、一日平均 262 人となった。雑誌記事索引ウェブ検索サービスは年中無休のサービスを提供している。

利用者数の内訳は来館者が 16,482 人、ファクシミリサービス利用者は 27,056 人、複写資料配送サービスの利用者は 464 人、雑誌記事索引ウェブ検索サービス利用者数は 45,903 人となった。

2. 資料の利用状況について

利用冊数は合計 604,975 冊。前年比 28,536 冊減少して、月平均 50,415 冊、利用者 1 名あたり 7 冊となった。資料複写枚数は合計 936,743 枚で、前年比 1,466 枚減少した。月平均は 78,062 枚となり、利用者 1 名あたりの複写枚数は 10 枚となった。

2. 平成 24 年度事業計画並びに実績

(1) 資料の収集拡充

【平成 24 年度事業計画】

① 所蔵図書

従来収集の雑誌及びノンフィクション関係書籍のほかに、新たな雑誌等の拡充をはかる。

② 雑誌記事索引

当文庫独自の雑誌記事索引は、冊子体総目録や CD-ROM として刊行されているが、ウェブ検索サービスでも広く国内外で利用され、わが国の社会文化歴史研究に活用されている。本年度も一層の拡充をはかる。

【平成 24 年度実績】

① 蔵書の拡充について

新しい雑誌の発行に注意し、主要な創刊号を購入、所蔵をはかった。可能な限り多種類の雑誌のバックナンバーを備えるように随時出版元に寄贈依頼を行い、図書資料の拡充をはかったが、休刊等で収集冊数合計は 147 冊ほど減少した。

図書資料のうち新刊雑誌は定期受贈の 768 誌に購入補充の 45 誌 993 冊を含めた 813 誌 9,188 冊と創刊号 108 冊を収集した。個人寄贈の 357 冊と越生分館で保存用に購入の 29 誌、435 冊を加えた本年度の収集総計は 11,093 冊であった。書籍収集については個人寄贈 22 冊、法人寄贈 561 冊、合計 583 冊を受贈した。

②雑誌記事索引の作成について

収集雑誌のうち利用頻度を考慮し週刊誌 33 種類、月刊誌 197 種類、その他 161 種類、合計 391 種類の雑誌 4,517 冊について人名件名別の詳細な記事索引を作成した。臨時増刊、別冊、付録については 1 種類としてカウントし、その他種類に加算した。本年度は 199,280 件の記事索引を雑誌記事索引データベースに登録した。明治時代から本年度末まで 130 余年間について、人名索引 144,613 項目 2,544,427 件、件名索引 7,456 項目（大中小項目数） 3,256,255 件、総計 152,069 項目 5,800,682 件の記事索引が常備されている。このうち 25 年間分の主要記事 4,557,891 件（分類件数）についてはデータベースにより検索が可能である。別途、総目録に 1,242,791 件（人名 583,416 件、件名 659,375 件）の記事索引を収録している。

(2)雑誌記事索引データベースサービスの整備

【平成 24 年度事業計画】

①来館・記事代行検索プリントサービス

本年度も来館者を対象に、必要とされる雑誌記事索引データをコンピューターで代行検索して、検索結果を無料で印刷して閲覧提供する。

②記事索引閲覧サービス

本年度も来館者用に検索端末を設置し、当館所蔵誌の雑誌記事索引を自由に検索して、閲覧できる体制を常備する。

③記事検索資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に、雑誌記事索引データベースで必要な記事を検索し、記事リストをファクシミリで送信するサービスを継続する計画である。

④教育機関対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

本検索サービスは平成 14 年 7 月に開設されたが、国内のみならず国外教育機関においても活用されており、一層の普及促進をはかる。

⑤賛助会員対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

本サービスは平成 18 年 4 月から開始したが、本年度も一層の普及促進に務める。

⑥公立図書館対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

本サービスは平成 22 年度から全国の公立図書館を対象にサービスを開始したが、本年度も一層の普及促進に務める。

⑦雑誌記事索引データベースシステムの改修

平成 21 年から稼働している現行システムは、平成 25 年にサーバーの保守期間が終了するため、本年度は新サーバーを購入して併用しつつ、平成 25 年 4 月移行に向けて運用プログラム等を改修し検索速度のアップ等をはかる計画である。さらに『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』収録の明治大正期から昭和 63 年までの全データ 120 万件の追加搭載も予定している。

【平成 24 年度実績】

①来館者を対象に雑誌記事索引をコンピューターで代行検索し、該当記事リストの無料プリントを行った。代行検索の利用者数は、自ら検索端末機を操作する利用者が増加したため、前年比 181 人減の 1,295 人、プリント枚数は 6,890 枚減の 35,586 枚となった。そのうち、プリント持ち帰り希望者 38 人に 294 枚を頒布した。

②来館者が、過去 25 年分の雑誌記事索引を 30 台の端末（2 台の CD-ROM 端末を含む）で自由に検索できる現体制を維持し、専任の係員による代行検索やガイダンスを徹底して、現状の利便性を強化することに努めた。

③記事検索資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に、雑誌記事索引データベースから必要な記事リストをプリントしてファクシミリで送信する有料検索サービスを行った。

④教育機関対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス（WEB 教育機関版）

教育機関限定の雑誌記事索引ウェブ検索サービスは、海外も含めて利用機関が順調に増えており、現在 129 機関に導入されている。学生や研究者が学位論文等作成などに活用している。

〔著作運営〕 公益財団法人大宅壮一文庫

〔事業対象〕 学校図書館

〔収録資料〕 1988 年から最新までの雑誌記事索引 455 万件（分類件数）

〔利用料金〕 252,000 円（税込）（月額：21,000 円）

⑤ 賛助会員対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス（WEB 法人会員版）

賛助会員を対象にした雑誌記事索引ウェブ検索サービスの利用部署数は前年より 2 部署増えて 41 部署だった。本年度も活発に利用されたため、利用表示件数（1 件 20 円）は 1,204,252 件となり前年より 189,671 件増加した。

〔著作運営〕 公益財団法人大宅壮一文庫

〔収録資料〕 1988 年から最新までの雑誌記事索引 455 万件（分類件数）

〔利用料金〕 ・基本料金（月額 5,250 円） ・索引料金（1 件 20 円）

⑥ 公立図書館対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス（WEB 公立図書館版）

公立図書館を対象にした雑誌記事索引ウェブ検索サービスは、県立図書館、市立図書館等、全国 15 の公立図書館で導入されている。図書館のレファレンス業務等、住民サービスに活用されている。

〔著作運営〕 公益財団法人大宅壮一文庫

〔事業対象〕 全国の公立図書館

〔収録資料〕 1988 年から最新までの雑誌記事索引 455 万件（分類件数）

〔利用料金〕 252,000 円（税込）（月額：21,000 円）

⑦ 雑誌記事索引データベースシステムの改修

平成 24 年 3 月に策定した新システム改修プランの「要件定義」に基づき、平成 24 年 4 月からシステム改修作業を開始した。11 月には新サーバーを 8 台購入してデータセンターに設置し、旧システムとの併用を開始した。平成 25 年 1 月から平成 25 年 4 月 1 日の新システム本稼働に向けてテスト稼働を実施し、3 月 31 日に改修を完了した。

旧システムでは搭載データ件数が限界となっていたが、新システムでは検索エンジンのキャパシティが大幅に増加して、今後 5 年間の索引データの増加を十分にカバーすることができるシステムとなる。また、今回の改修により、サーバーのトラブルによる長時間のシステム停止を回避できる機器構成となる。加えて『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』収録の明治・大正期から昭和 63 年までの索引データ 100 万件を追加搭載する。データ更新頻度も毎週 1 回から毎週 2 回に増やして、利用者の利便をはかることとした。

(3) 雑誌記事複写サービス

【平成 24 年度事業計画】

① 来館複写サービス

来館者の要請による所蔵雑誌の記事複写サービスを著作権法の範囲内で行う。学業目的の学割料金も継続し便宜をはかる。

② 記事複写資料配送サービス

来館できない遠隔地の利用者が必要とする雑誌記事を著作権法の範囲内で複写し配送するサービスを継続する。

③ 記事複写資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に、雑誌記事索引で検索した雑誌記事を複写し、ファクシミリで送信するサービスを継続する。所定の複写権使用料を複写権管理団体に納付する。

【平成 24 年度実績】

① 来館複写サービス

来館者の要請により雑誌記事の複写サービスを著作権法の範囲内で行った。学業目的の学割料金については継続して便宜をはかった。

② 記事複写資料配送サービス

来館できない遠隔地からの利用者の要請にもとづき必要記事を著作権法の範囲内で複写し、代引き制度による配送サービスを行った。

③ 記事複写資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に雑誌記事索引で検索した雑誌記事を複写し、ファクシミリで送信するサービスを行い、所定の複写権使用料を複写権管理団体に納付した。

〔複写権使用料〕

記事複写のファクシミリ利用については、公益社団法人日本複製権センターとの利用許諾契約にもとづき、24 年度分複写権使用料として税抜 1,545,730 円を納付した。

(4) 埼玉越生分館の事業

【平成 24 年度事業計画】

- ① 来館者に大宅壮一関連資料を展示、公開する。従来通り開館日は祝日を除き週 3 日間とする。
- ② 来館者に所蔵書籍データベースを提供、閲覧サービスを行う。
- ③ 主要雑誌の予備用のバックナンバー保存は、経費節減のため一部の雑誌収集を中止する。

【平成 24 年度実績】

東京本館書庫が飽和状態となり、災害時の資料保全及び資料保存のため、平成 8 年度に埼玉県入間郡越生町に用地を取得、分館を建設した。平成 9 年 4 月に開館し業務を開始し、現在に至っている。平成 24 年度は東日本大震災等の影響により週 2 日間臨時休館をしたため、週 1 日開館した。24 年度は有料入館者はなかった。

- ① 来館者に大宅壮一関連資料を展示、公開した。
- ② 来館者への所蔵書籍データベースの提供、閲覧サービスはなかった。
- ③ 主要雑誌のバックナンバーについては、経費節減のため収集雑誌数を大幅に縮小した。本年度は 29 誌、435 冊を継続購入して保管した。

(5) 出版物の刊行

【平成 24 年度事業計画】

- ① 「大宅文庫ニュース」の刊行
機関紙「大宅文庫ニュース」を従来通り 2 回刊行し、無料頒布する。

【平成 24 年度実績】

- ① 「大宅文庫ニュース」の刊行
機関紙「大宅文庫ニュース」を 2 回刊行し、大学、図書館、会員に無料頒布した。

(6) 建物の補修工事及び O A 機器の交換

【平成 24 年度事業計画】

- ① 東京本館のトイレ修繕
東京本館の新館トイレは東日本大震災で壁面が破損したため修繕し、あわせて高齢者等の利便向上をはかるため設備改修を行なう。
- ② パソコン、プリンター等、O A 機器の交換
現在使用中のパソコン及びプリンターは全て 5 年以上使用しており、老朽化による故障やトラブルが発生している。ソフトのバージョンアップも困難となり業務に支障が出るため新機種に交換する。また故障により復旧が困難なものや保守期間終了時期が差し迫っている機器についても交換する。

【平成 24 年度実績】

- ① 東京本館のトイレ修繕
東京本館の新館トイレの壁面の破損部分を修繕した。和式便器から洋式便器に設備改修を行い、トイレ内に手摺を設置して高齢者等の利便向上をはかった。
- ② パソコン、プリンター等、O A 機器の交換
O A 機器については、継続使用したため、新機種への交換は行わなかった。